

平成になり、異常気象や災害時に交通機能の確保など地域住民の安心・安全を守るため、南三重に待望の高速道路が開通しました。紀勢自動車道及び熊野尾鷲道路の延伸、紀宝バイパスの開通により、中京圏・関西圏などからの来訪が、身近になりました。また「命の道」として、経済や産業、文化など、地域の多様な連携、交流促進が大きく進むことが期待されます。

古の道と未来の道を繋ぐ――

より身近になった南三重にぜひ、お越しください。

平成の道で南三重に

Minamimie



七里御浜

荒々しい黒潮をおおらかに受けとめる。熊野市から紀宝町に至る約22キロ続く日本で一番長い砂礫海岸。「日本の渚百選」や「21世紀に残したい自然百選」などに選ばれている。【熊野市松本峠より】



▷瀧原宮

伊勢神宮の別宮で、昔から「大神の遙宮(とおのみや)」と呼ばれる。深い社叢に覆われてお社が鎮まる。
【大紀町▶P20・B-3】



▷鵜倉園地

リアス式海岸、大自然の魅力が一望に。気候や天候によっても様々な表情を見せてくれる。
【南伊勢町▶P21・B-4】



▷風伝の朝霧

初秋から春先にかけて滝のように流れ落ちる朝霧は、山間部の米どころ「尾呂志地区」の風物詩。
【御浜町▶P22・G-7】



▷神内神社

巨岩を御神体とし、熊野の自然崇拝の有り様をいまに伝える。境内には約300種の植物が繁茂する。
【紀宝町▶P22・H-8】